

サードプレイス活用 簡単まとめ



※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年4月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

サードプレイス活用 簡単まとめ

サードプレイスとは、家庭（ファーストプレイス）と職場・学校（セカンドプレイス）以外の「第三の場所」を指します。米国の都市社会学者レイ・オルデンバーグによって提唱されました。ストレスから解放され、自分らしく過ごせる居心地の良い場所として、現代社会で注目されています。

なぜ注目されるか 働き方や人生の価値観の多様化、少子高齢化、コロナ禍による家庭での時間増加などを背景に、従来の場所だけでは満たされないニーズが高まっています。日々のストレスから離れ、他者と緩やかにつながれる場が求められています。

サードプレイスの特徴（レイ・オルデンバーグによる）

- 中立的で平等な交流ができる場所
- 会話が奨励される
- 気軽に立ち寄れる（高い利用しやすさ）
- 常連客が存在する
- 目立たず家庭的な雰囲気
- 遊び心がある
- 我が家のようにくつろげる

サードプレイス活用 簡単まとめ

期待される効果

- 心身のリフレッシュ
- 新しい発想や刺激
- 精神的な安定
- （企業が提供する場合）従業員間のコミュニケーション促進、生産性・働きがいの向上

主な活用例

- 企業が社内に設けるカフェやバー、ラウンジ
- コワーキングスペース（集中作業や異業種交流の場として）

サードプレイスは、個人の人生を豊かにし、また企業活動においても新たな価値を生む可能性を持つ場所です。